

高畠町立中学校再編統合計画の概要

再編統合の結論と開校時期

現在の4校を1校に再編統合することが望ましい。
統合する時期は、平成28年4月1日が望ましい。

《1校とした主な理由》

将来においても人口減少が予測されること。

学校は長い期間利用します。生徒数の減少など将来を見据えた学校建設が必要です。

全校生徒数は多くなっても、少人数による学級編制を行うことから、一定の学習成果が得られると予想できること。

平成23年度から中学3年生まで教育山形「さんさん」プランが導入されます。

少人数学級による学習環境が整えられる予定です。

全教科複数の教員が配置できること。

全教科において専任の教員が配置されます。

主要5教科については、3～4名の専任教員が配置されます。

多岐多様にわたる部活動が可能であること。

運動系、文化系ともに部活動の種類を増やすことで子どもたちの選択肢が拡大します。

生徒の意思を尊重した部活動が期待できます。

投資的経費及び経常的な経費も将来において集中的に投資できること。

学習施設や部活動施設など、大規模校のスケールメリットを有効に活用でき、理想的な教育施設にすることが可能となります。

町内1校にすることで、町民のこころを一つにすることができること。

1校に統合することで、学習面や部活動など多くの場面において町民の方々の期待や思いなどのこころを一つにすることが可能となります。

《生徒数の推移》

生徒数は、昭和29年に町村合併(糠野目地区は昭和30年に統合)して以来、昭和38年度の2,664人をピークに急激な減少に転じ、平成22年度は721人と、

ピーク時の約 27%まで減少しています。

教育委員会の推計では今後も減少を続け、平成 33 年度の中学校生徒数は 614 人(平成 22 年度比 85%)になるものと予想されます。

なお、国立社会保障・人口問題研究所が公表している将来人口予測を基に、当町の将来の中学校生徒数を予測すると平成 37 年度には約 530 人、平成 47 年度には約 450 人になると思われます。

表 高畠町中学校生徒数の推移

| 年度 (平成) | 生 徒 数 | | | | |
|------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| | 総 計 | 第一中学校 | 第二中学校 | 第三中学校 | 第四中学校 |
| 22 | 721 | 267 | 140 | 134 | 180 |
| 25 | 763 | 300 | 129 | 141 | 193 |
| 26 | 735 | 290 | 120 | 139 | 186 |
| 28 | 679 | 244 | 139 | 123 | 173 |
| 31 | 635 | 236 | 114 | 114 | 171 |
| 32 | 617 | 216 | 114 | 110 | 177 |
| 33 | 614 | 200 | 125 | 116 | 173 |
| | 減少率(H22対比) | 15% | 25% | 11% | 13% |
| 37 | 528 | | | | |
| 42 | 490 | | | | |
| 47 | 452 | | | | |
| | 減少率(H22対比) | 37% | | | |

《校舎等施設の状況》

各校舎の現況は下表に示すとおり、昭和 33 年に町立第一中学校校舎と町立第三中学校校舎が建設されており、既に 51 年が過ぎています。

また、町立第四中学校は昭和 57 年に、町立第二中学校は昭和 60 年に建設され、両校とも数年後には大規模な改修時期を迎えます。特に、第四中学校の屋内運動場は、昭和 59 年に建設されて以来 26 年目を迎え、アリーナの凹凸や屋根の雨漏り、ドアのゆがみなどが生じています。

表 町内中学校校舎の建設年度

| 学 校 名 | 建設年度 | 経過年数 |
|-------|-----------|------|
| 第一中学校 | 昭和 33 年 ~ | 51 年 |
| 第二中学校 | 昭和 60 年 ~ | 24 年 |
| 第三中学校 | 昭和 33 年 ~ | 51 年 |
| 第四中学校 | 昭和 57 年 ~ | 27 年 |

《統合中学校における課題への対応》

生徒の学力向上のための支援

少人数による学級運営が図られるものの、更に生徒の学力向上をめざすために必要な人的支援を行います。

特別支援教室の確保

現在の特別支援教室は、新校舎になっても引き続き設置します。

課題を抱える生徒への積極的な支援

課題を抱える生徒に対しては、積極的、かつ集中的に人員配置しながら、生徒が安全に、安心して学ぶことができる学習環境をつくります。

円滑な再編統合のための取り組み

再編統合されるまでの間、子どもたちが引き続き、安心して充実した学校生活を送り、適切な教育が受けられるようにします。

また、新しい学校が円滑にスタートできるよう、教員の加配など人的措置を含めた支援を統合前から行います。

通学の安全対策

生徒の通学にあっては、「高畠町遠距離通学対策計画」に基づいて通学バスの運行や自転車通学、徒歩通学などとします。特に、通学距離が原則として4km以上の生徒については、通学バスによる通学とします。

空き教室の活用

将来において空き教室が発生することが予測されます。建設時に将来の空き教室対策について事前に考慮しておかなければなりません。

《統合中学校の施設等》

- ・ 校 舎
- ・ 体育館(大・小)
- ・ 屋外運動場
- ・ 柔剣道場
(野球・サッカー・ソフトボール・トラック 同時使用可能)
- ・ セミナーハウス
- ・ 自転車置き場
- ・ 通学バス用車庫
- ・ 学習農園

《総事業費及び財源内訳》

| | |
|------|--------------|
| 総事業費 | 約 45 億 8 千万円 |
| 国交付金 | 約 8 億 7 千万円 |
| 借入金 | 約 34 億 5 千万円 |
| 自己財源 | 約 2 億 6 千万円 |

給食施設及び校舎解体費用は含んでいません。

《検 討 経 過》

| | |
|--|-----------------|
| ・ 学校再編統合計画策定検討委員会の設置検討 | H18.11 ~ H19. 7 |
| ・ 高畠町小中学校再編統合検討委員会の設置検討 | H20.5 ~ H20.11 |
| ・ 各中学校 PTA 役員説明会 | H21.2 ~ H21.3 |
| ・ 各中学校保護者説明会 | H21.4 ~ H21.5 |
| ・ 学校視察 | H21.5 |
| 山形市立第 5 中学校(生徒数 600 人超)、河北町立河北中学校(町内 1 校統合校) | |
| ・ 学校視察 | H21.6 |
| 白鷹町立白鷹東中学校(町内 2 校統合校)、長井市立南中学校(市内 2 校統合校) | |
| ・ 町民とのまちづくりトーク | H21.6 |
| ・ 中学校区毎の保護者説明会 | H21.6 |
| ・ 町内中学校長との意見交換会 | H21.7 |
| ・ 二井宿地区区長会(住民)との意見交換会 | H21.10 |
| ・ 町内小中学校長との意見交換会 | H22.1 |
| ・ 地区毎の住民意見交換会 | H22.2 |